

第 2 編

令和 3 年 4 月 25 日 執行

衆議院北海道第 2 区選出議員補欠選挙

1 選挙の概要

令和2年12月22日に吉川貴盛衆議院議員が辞職したことを受け、同年12月24日、北海道選挙管理委員会が衆議院北海道第2区で衆議院議員の欠員を生じたことによる補欠選挙を行うべき事由が発生した旨を告示し、当該選挙は、令和3年4月25日に執行された。

今回の補欠選挙では、選挙すべき議員1人に対し6人が立候補し、うち3人が政党（立憲民主党、日本維新の会及びNHK受信料を支払わない方法を教える党）による届出、3人が本人による届出であり、立憲民主党の候補者が当選した。

本選挙は、新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、札幌市では初めて執行される選挙であったことから、選挙人の投票機会及び投・開票における安全・安心の確保のため、令和2年10月に作成した「札幌市選挙事務新型コロナウイルス感染症対策実施要領」に基づき、感染症対策を実施した。

新型コロナウイルスは令和3年3月以降、爆発的な感染拡大には至っていなかったものの、感染者数が増加傾向にあったことから、投票所、開票所等における感染症対策のほか、新型コロナウイルス感染症に感染し、療養のため外出が制限されている選挙人への対応についても報道機関などで大きく取り上げられたところである。

なお、札幌市における宿泊療養施設における不在者投票記載所の設置経緯等については、選挙時報第70巻第7号（全国市区選挙管理委員会連合会発行）に寄稿した。

また、開票所においては、密回避のため、従事者数を約3割削減するとともに、北区と東区に5台ずつ投票読取分類機を配置した。

なお、札幌市内においては北区及び東区のみが選挙区に含まれることから、各区選挙管理委員会事務局の協力を得て、各区1人、計8人の職員を北区及び東区選挙管理委員会事務局に応援職員として配置し、選挙人名簿の調製及び期日前投票事務に従事するなど、体制の強化を図った。

選挙区全体の投票率は30.46%で、平成29年の衆議院議員小選挙区選出議員選挙における投票率（札幌市平均）58.94%を大きく下回った。

以下が、衆議院北海道第2区選出議員補欠選挙の概要である。

(1) 選挙の期日

- ア 告示日 令和3年4月13日（火）
- イ 選挙期日 令和3年4月25日（日）

(2) 選挙人名簿の登録

ア 選挙時登録

公職選挙法第22条第3項の規定により次のように定められた。

- (ア) 登録基準日 令和3年4月12日（月）
- (イ) 登録日 令和3年4月12日（月）

上記の登録により、北海道第2区（札幌市北区及び東区）の選挙人名簿登録者数は460,519人となった。

(3) 在外選挙人名簿の登録

登録は随時行う。ただし、公職選挙法第30条の6第3項の規定により、令和3年4月13日（告示日）から4月25日（投票日）までは登録しない。

(4) 在外選挙人名簿登録者数（令和3年4月12日現在）

男 61人 女 98人 計 159人（北海道第2区（札幌市北区及び東区））

(5) 候補者

ア 立候補予定者説明会

令和3年3月16日（火）に、北海道選挙管理委員会において開催された。

イ 選挙すべき議員の数

1人

ウ 立候補者数

6人（3人が政党による届出、3人が本人による届出）

(6) 選挙運動費用の支出制限額

選挙運動費用支出制限額は、26,007,800円であり、平成29年10月22日執行の衆議院小選挙区選出議員選挙（北海道第2区）の25,974,500円を上回った。

(7) 選挙公営

ア ポスター掲示場

設置数は590箇所、平成29年10月22日執行の衆議院小選挙区選出議員選挙(北海道第2区)における設置数(584箇所)を6箇所上回った。なお、ポスター掲示場の区画数は12区画であった。

イ 選挙公報

選挙公報は、北海道選挙管理委員会においてブランケット判両面印刷で301,900部を印刷し、広報さっぽろの配布ルートと同じく、一部業者委託をしたほか各町内会等の協力を得て4月23日(選挙期日前2日)までに世帯配布を完了した。

ウ 個人演説会等

公営施設利用の個人演説会等は、対象区にて実施されなかった。

(8) 投票

ア 投票用紙

投票用紙は合成紙(BPコート110(点字の投票用紙は色上質紙特厚口))を、点字投票用紙は色上質紙(特厚口)を使用し、あさぎ色(薄青色)の用紙に黒色の印刷であった。

イ 投票所

投票所数は85箇所、平成29年10月22日執行の衆議院小選挙区選出議員選挙(北海道第2区)と同数であった。

選挙時登録日(4月12日)現在における北海道第2区の選挙人名簿登録者数の最大は東区第27投票区(札幌北中学校)の9,439人、最小は東区第26投票区(福移小学校)の55人であった。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、過去の選挙における時間別投票者数を札幌市選挙管理委員会ホームページに掲載し、投票者の分散を図るとともに、従事者のマスク着用、投票所出入口に手指消毒用消毒液の設置、一定の間隔を空けた入場整理、選挙人と接する受付係や名簿対照係、投票用紙交付係に飛沫感染防止のためのビニールカーテンの設置、投票所で使用する鉛筆の消毒、投票記載台の使用ブースの制限による間隔の確保、投票所内の定期的な換気等の取組を行った。

ウ 投票の状況

投票は4月25日午前7時に開始され、午後8時に終了した。

投票管理者を除く投票所の事務従事者数は1,073人であった。

投票日当日の日中の天候は、気象庁の気象データによると、午前6時から午後6時までは雨時々曇、午後6時以降は雨時々曇後晴であり、最高気温は8.6℃、最低気温は1.6℃であった。

選挙区全体の投票率は30.46%となり、平成29年10月22日執行の衆議院小選挙区選出議員選挙における投票率（札幌市平均）58.94%を大きく下回った。

投票の確定時刻は、午後10時24分であった。

エ 在外選挙人名簿登録者の投票

在外選挙人制度による投票率は、6.96%であった。

オ 期日前投票

期日前投票者数は29,479人で、投票者数に占める割合は21.04%、有権者数に占める割合は6.41%であった。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、期日前投票に来場する投票者の分散を図るため、過去の選挙における期日前投票所の日別、時間別投票者数を市選挙管理委員会ホームページに掲載するとともに、第1期日前投票所の閉鎖時刻を1時間繰り下げ午後9時までとしたほか、当日投票所と同様の対策を施した。

カ 不在者投票

不在者投票者数は1,896人であった。

また、新型コロナウイルス感染症に感染し、宿泊療養施設に入所し外出が制限されている選挙人の選挙権行使機会確保の取組として、市内2箇所に開設していた宿泊療養施設のうち、1箇所の施設敷地内に感染症対策を施した臨時の不在者投票記載所を設置し、4月23日（金）のみ、午前8時45分から午後5時15分まで開設した。

なお、もう一方の宿泊療養施設で療養中の不在者投票希望者は、感染防止対策を施した車両により臨時の不在者投票記載所に移送することで対応した。この臨時の記載所における不在者投票者数は、両施設合わせて4人であった。

この臨時の記載所における事務従事者は8人（うち5人が防護服を着用）、臨時の記載所を設置しない宿泊療養施設における事務従事者は2人（うち1人が防護服を着用）であった。

(9) 開票

ア 開票の状況

開票は4月25日（日）午後9時から行われ、同日午後11時47分にすべてが確定した。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、開票所内の密回避のため、コロナ禍ではなかった場合に配備したであろう従事者数と比べて約3割減となる310人（開票管理者を除く）で開票事務を行うとともに、北区と東区に投票読取分類機を5台ずつ配置した。

なお、取り扱った投票の総数は140,085票であった。

イ 無効投票

無効投票数は投票総数の2.63%を占める3,687票であり、無効投票に占める白票の割合は66.97%であった。

(10) 選挙結果

北海道第2区全体での各候補者の得票数は、次のとおりであった。

当落	得票数	候補者名	届出政党等
当	59,664	松 木 けんこう	立憲民主党
落	27,355	つる羽 よしこ	本人届出
落	22,459	山 崎 泉	日本維新の会
落	15,738	長 友 たかのり	本人届出
落	5,630	さいとう 忠 行	NHK受信料を支払わない 方法を教える党
落	5,552	小 林 悟	本人届出